

# 店品 技人

ファイル 34 取材日 H21.11.4



## イートン塾

横手市条里一丁目7-31  
TEL.32-3980 FAX.33-3785  
【創業】1983年 【従業員数】6名

### プロフィール

さいとう りゅうじ ろう  
**齊藤 龍次郎**  
昭和27年11月19日生まれ  
出身地:横手市  
趣味:溪流釣り、山歩き、旅



自分で経験してきたからこそ自信を持って言える。ふるさと「よこて」が一番素晴らしい町だと。今回は、学習塾と外国人講師による生きた英語を教えている英会話教室「イートン塾」の齊藤龍次郎さんにお話を伺いました。外見の優しい雰囲気からは想像もつかないような様々な「武勇伝」をお持ちのようです。

生徒さんがまだ来ない時間にお邪魔したので、教室内はひっそりとしていました。

お邪魔します。この度は取材に応じたいただき、ありがとうございます。

何を話せばいいかわからないけど、よろしくお願いします。

では早速ですが、学習塾を始めたきっかけを教えてくださいいただけますか。

きっかけというか…。家庭教師をやっていた同級生が他の私にやってくれないかと頼まれたんです。

家庭教師をされたのが最初なんです。それはいつ頃のお話ですか。

私が二十五、六歳の頃の話です。

じゃあ、大学を出てから一度お勤めされたんですか。

いえいえ、私は何処にも勤めたことはないんです。

えー！それは英語の勉強のためですか。

そういうわけでもないんですが…。特に目的はなく「アメリカに行けば何かがある」と思っただけでした。良く言われる「自分探しの旅」でしょうか。原点は子供の頃からのカウボーイへの憧れですね。

それでアメリカには何年間滞在していたんですか。

アメリカ・カナダ・南米と三年程ですね。最初の渡航費用は親が出してくれたんですが、

訪れる先々でバイトをしてお金を貯めた町へ旅行するという生活でした。旅という移動も基本はヒッチハイクで、ようやく乗せてくれたのが偶然にも日本人。しかもあと二日日本に帰るからこの車を買わないかと言われ、安くしてもらいしばらくはその車で移動してました。

私達には考えられないんですが、ステキな出会いが旅先であつたんですね。英会話は大丈夫だったんですね。

そんなに話せるわけではなかったですよ。でも必要最低限の言葉、すなわち泊まる場所、食べるものを安く確保するための言葉です。それが

生きた英会話指導の賜物ですね！  
最後に今後の夢とか、希望はありますか。

希望というか…。「イートン塾」の基本姿勢は成績を上げてもらうことはもちろんなんです。基礎をしっかりと身につけて自信をつけてもらうことなんです。少しでも自信が持てれば学ぶことが楽しくなるはず。この塾で学んでよかったと言ってもらえることが一番嬉しいというか、そう思っています。

旅行では、今後行ったみたい国はありますか。

そうですね。時間があれば一ヶ月くらい掛けてゆっくりヨーロッパの古い石畳の街並みを見に出かけたいと思うんですけど…。体力があればカムチャッカ半島に行つて釣りもしてみたいね！

旅行の話になると話は尽きないようですね。また、旅の楽しい話を聞かせてください。今度はおつとゆつくりと…。ありがとうございます。

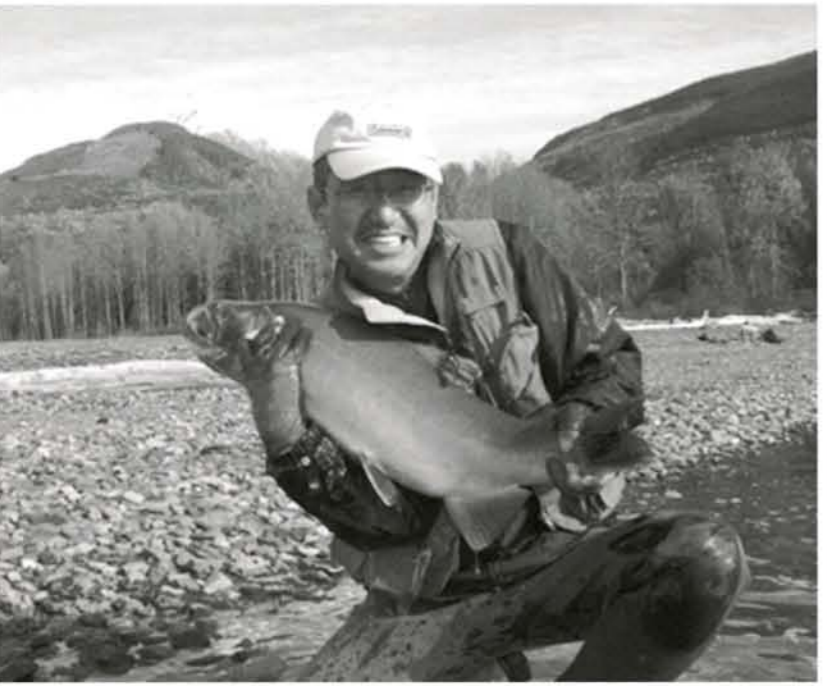
仲間には何回も話を聞いて、話すたびに違うことを話している気がします。アレンシしたりして…。(笑)

たくさんありますよ。話せば長くなりますけど、熊に襲われそうになったこともあるし、ペルーの山奥に一人で行つて熱にうなされて死ぬかと思つたときもあります。飲みながら話せばもっと色々な話がでるんだけど…。(笑い)

その土地の人と触れ合うのが旅行の醍醐味ですね。旅先でのエピソードはありますか。

ところで、イートンさんの英会話教室では外国人講師の方が教えていらっしゃるんですか。どのようにしてスカウトするんですか。

今はインターネットのサイトがあって、そこで募集するんです。ちょうど二週間前に



▲カナダのケーラム川で釣り上げた コーホサーモンのオス「デカイ」